

会議録

会議の名称	令和3年度第2回西東京市総合計画策定審議会
開催日時	令和3年11月25日（木曜日）午前10時から12時15分まで
開催場所	西東京市役所田無庁舎3階庁議室
出席者	市川武志委員、伊藤一雄委員（副会長）、伊藤泰彦委員（会長）、小松真弓委員、佐久間雄一委員、佐々木亮翔委員（※）、土井隆司委員、中島伸委員、松川紀代美委員（50音順） 事務局：保谷企画部長、栗田企画部参与兼企画政策課長、近藤企画政策課課長補佐、鹿森企画政策課主査、里企画政策課主査、浅水企画政策課主任、小倉企画政策課主任、鎌田企画政策課主事 （欠席）中嶋亮太委員 ※西東京市総合計画策定審議会の運営に関して必要な事項の制定について（令和3年10月21日付3西企企第231号市長決裁）第2の規定に基づき、出席扱いとする。
議題	議題1 開会 議題2 諮問事項に対する協議検討 （1）社会情勢の変化、周辺自治体の総合計画について （2）総合計画策定に向けた基本方針について （3）基本方針策定に向けた議論 （4）中学生まちづくりアンケートについて （5）企業・団体等ヒアリングについて 議題3 その他
会議資料の名称	資料1 社会情勢の変化について 資料2 総合計画に関する周辺自治体の動向について 資料3 総合計画策定に向けた基本方針について 資料4 中学生まちづくりアンケート実施概要 資料5 企業・団体等ヒアリング概要について
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p><u>議題1 開会</u> 会長より開会の挨拶 初回出席委員自己紹介</p> <p>○会 長： 傍聴要領に基づき、傍聴人の入室を認める。（傍聴人入室）</p> <p><u>議題2 諮問事項に対する協議検討</u> <u>（1）社会情勢の変化、周辺自治体の総合計画について</u> 事務局より資料1及び2に沿って説明 ○会 長： 事務局から説明のあった内容について、質問、意見等はあるか。</p>	

(意見等なし)

(2) 総合計画策定に向けた基本方針について
事務局より資料3に沿って説明

(3) 基本方針策定に向けた議論

○会 長：

ここからは、グループディスカッションにより議論する。

事務局よりグループディスカッションの説明

【グループディスカッションのテーマ】

2033年の西東京市がどのようなまちになっていてほしいか。
(望むこと、期待すること)

○事務局：

佐々木亮翔委員（学生）には、事前に本テーマについて意見を聴取し、動画にしているため、ご覧いただきたい。

《インタビュー動画の内容》

○事務局：

2033年の西東京市がどのようなまちになっていてほしいと思うか。望むこと、期待することなどがあるか。

○委 員：

電柱のないまちになっているとよいと思う。西東京市は、他のまちと比べて、空が開けているという印象がある。電柱がないことで、景観もよくなると思う。また、住みやすく豊かなまちになっていると良いと思う。具体的には、2世帯で住んでいる家庭や子どものいる家庭が住みやすく、経済的に豊かなまちになってほしい。

○事務局：今の西東京市は住み心地がよいと感じるか。

○委 員：

よいと感じる。治安が良く、静かで、不自由なく暮らすことができる点がよいと感じる。

○事務局：

10年後、20年後を想像した場合、仕事の都合がなければ、西東京市に住み続けたいと思うか。

○委 員：

住み続けたいと思う。

○事務局：

自分のまちである西東京市に誇りが持てるか。

○委員：

持てる。約20年西東京市に住んでいて、不自由なく暮らすことができるということもあるが、多摩六都科学館、田無タワー、田無神社など、周りに魅力もたくさんある。

○事務局：

現在、安心安全のまちづくりに取り組んでいるが、どのようなことが改善されれば、またはどのようなものがあれば、安心して暮らすことができるまちになると思うか。

○委員：

東日本大震災があった際、小学校に通っていたが、すごくパニックになっていたため、市として震災があった際の指針などがあると安心できると思う。

○事務局：

現在、学生の方はどのようなことに不満があると思うか。

○委員：

私は大学生のため、大学生のことしか分からないが、学費のことに不満がある人が多いように思う。海外では、初等教育から大学まで無償になっていることがスタンダードであるため、日本もそうなってくれるとよい。

○事務局：

将来的に、西東京市が変わってほしいと思うか、変わってほしくないと思うか。

○委員：

変わってほしくない。例えば新宿、渋谷、池袋、原宿などは、おしゃれで魅力的なまちだとは思いますが、そこが住みやすいと言われると、人が多く、気を遣うため、住みやすくないと思う。西東京市は、住みやすく、魅力もあるが、いい意味でおしゃれ過ぎないまちであるため、そういった意味では変わってほしくない。

○事務局：

自分が地域のために何かをしたら、何ができると思うか。

○委員：

自分ひとりではできることは限られているため、大きなことは出来ないが、ボランティア活動や、困っている人がいたら声をかけるなど、小さなことから地域に貢献できればと考えている。

《動画終了》

○事務局：

それではグループディスカッションに移る。

《グループディスカッションの概要》

- ・ 2グループに分かれてディスカッションを行う。
- ・ ディスカッションで出た意見を10個のキーワードとしてまとめる。
- ・ 10個のキーワードから、核となる「2033年の西東京市」をまとめる。
- ・ 各グループのまとめは別紙のとおり。

○会 長：

今回挙げた意見等は、基本方針を作成する際の参考とさせていただく。
計画を策定するプロセスについては、次回検討したいと考えている。

(4) 中学生まちづくりアンケートについて

事務局より資料4に沿って説明

(5) 企業団体等ヒアリングについて

事務局より資料5に沿って説明

○会 長：

事務局から説明のあった内容について、質問、意見等はあるか。

○委 員：

中学生まちづくりアンケートについて、不登校の子どもや私立中学校に通う子どもへの対応はどのように考えているか。

○事務局：

市の教育委員会に協力要請するため、私立中学校等については現時点で調査対象としていない。ご意見を踏まえ今後検討する。

○委 員：

市民意識調査や中学生向けのアンケート、企業団体へのヒアリングの他に意見聴取の手法を考えているか。今回の計画策定に向けた意見聴取の全体像はあるか。

○会 長：

現時点で、今年度実施を予定しているのは、市民意識調査と中学生向けのアンケート、企業団体へのヒアリングである。他の市民意見の聴取方法については、次回、計画策定のプロセスの中での検討になると考えている。

○委 員：

市民意識調査を補完する意味で中学生向けのアンケートや企業団体へのヒアリングがあるという理解でよいか。

○事務局：

中学生向けのアンケートや企業団体ヒアリングは、市民意識調査を補完するものでは

なく、それぞれが横並びで、様々な層の意見を聴取するための取組であると捉えている。

○委員：

中学生や企業団体だけの意見では偏りがあるため、もっと幅広い層の方の意見を聞いた方が良いと考える。

○会長：

市民意識調査では、多数の意見が取り上げられる傾向にあるが、少数の意見も重要であると考えている。次回の会議では、意見聴取対象に焦点をあてて検討していきたいと思う。

議題3 その他

○会長：

事務局から何かあるか。

○事務局：

今回は、1月下旬を予定している。詳細については改めて通知する。

○会長：

第2回西東京市総合計画策定審議会を閉会する。

(閉会)